



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 綿半ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3199 URL http://www.watahan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野原 勇
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 有賀 博 TEL 03-3341-2766
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 89,991 | 15.6 | 1,997 | 36.2 | 2,100 | 33.4 | 1,266 | 26.3 |
| 2019年3月期第3四半期 | 77,824 | 1.2 | 1,466 | △16.8 | 1,575 | △15.0 | 1,002 | △11.7 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,297百万円 (37.1%) 2019年3月期第3四半期 946百万円 (△22.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 128.29 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | 101.66 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 63,646 | 15,699 | 24.7 | 1,588.67 |
| 2019年3月期 | 59,364 | 14,677 | 24.7 | 1,488.41 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,699百万円 2019年3月期 14,677百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 33.00 | 33.00 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年3月期（予想） | — | — | — | 34.00 | 34.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 114,245 | 7.3 | 2,673 | 13.0 | 2,811 | 12.2 | 1,640 | 1.7 | 166.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期3Q | 9,882,397株 | 2019年3月期 | 9,861,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 99株 | 2019年3月期 | 48株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期3Q | 9,872,425株 | 2019年3月期3Q | 9,861,452株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (表示方法の変更) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の通商問題の動向とともに中国経済の先行きや英国のEU離脱等、海外の政治経済の不確実性が懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

綿半グループが関係する事業環境のうち、小売流通市場では、業種・業態を超えた販売競争が激化する中で、10月の消費税増税やキャッシュレスポイント還元政策により生じた加盟店と非加盟店との恩恵の偏り等による市場の混乱、さらに、台風などの災害や暖冬の影響等による季節品の消費減も加わり、厳しい事業環境が続いております。

建設市場では、東京オリンピックを控え、公共投資、民間投資ともに建設需要は概ね底堅く、受注環境は総じて良好に推移しましたが、人件費や建設資材の高騰等を背景に建設コストが上昇するなど、先行き不透明な事業環境となっております。

貿易事業の主力事業である医薬品市場では、政府が薬価改定において大幅な薬価引下げを行うなど、市場全体を抑制する施策を推進しており、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下におきまして、綿半グループでは、力を合わせ、分かち合い、響き合う「合才の精神」を経営理念に掲げ、持株会社である当社を中核として、デジタル化の推進や働き方変革等による収益力の向上に努め、グループ会社が顧客・マーケットに適合した事業展開を積極的に推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は899億91百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益は19億97百万円（同36.2%増）、経常利益は21億円（同33.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億66百万円（同26.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業では、EDLP（エブリデー・ロー・プライス）戦略のさらなる推進を図るため、前期からの継続施策であるチラシ削減や商品点数の絞込みなどを実施するとともに、お客さまへの新たな情報発信のツールとしてSNSを活用するなど、一段と踏込んだEDLC（エブリデー・ロー・コスト）戦略を展開いたしました。

また、「一店舗一経営」を掲げ、地域の食材・食品の強化を図るため、地場産直コーナーの拡大や、鮮魚の鮮度向上を図るためのいけすの導入など、リアル店舗の存在価値を向上させる施策を実施してまいりました。

一方、グループの新体制として、2019年8月に株式会社サイエンスホームを連結子会社化し、前期にグループ入りした株式会社アベルネットのインターネット通販の活用や、綿半グループの仕入調達力を活かすことにより、さらなるグループ企業価値向上を図っております。

当第3四半期連結累計期間における業績は、インターネット通販の売上拡大等が寄与し、売上高は593億9百万円（同18.5%増）となりました。また、暖冬により季節品が伸び悩む中、様々な収益性向上のための施策が奏功し、セグメント利益は15億47百万円（同39.6%増）となりました。

なお、2020年4月に綿半ホームエイド中野店の移転リニューアルオープンが決定し、従来のホームセンター商材に加え、新たに生鮮食品や日配品を取揃えたスーパーセンターへと生まれ変わります。

（建設事業）

建設事業では、下請型の工事業から提案型のメーカー化へ向けて、岐阜県に設置した技術センターを中心に、ドローンを活用した屋根診断技術の開発や、開放感と断熱性を兼ね備えたアルミ大型断熱サッシ「GLAMO」等、既存事業に新しい付加価値を見出すべく独自の技術開発を継続し、提案力の向上に努めてまいりました。

また、将来の人手不足に備えて前期に設備投資をした自動溶接ロボットは、導入段階で問題が生じたため、その対策を図るとともに、ミャンマーに設置したCADセンターの作業効率の見直しに取組みました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、立体駐車場の工事が順調に進捗したこと等により、売上高は260億58百万円（同7.5%増）となりました。一方、利益面では、一部大型工事の採算性の低下や鋼材価格の高騰に加え、自動溶接ロボットとCAD図面の連携に不備が生じたことにより、セグメント利益は4億7百万円（同42.6%減）となりました。

（貿易事業）

貿易事業では、「取扱原薬数を倍にする体制整備」「自然派・オーガニック商品の拡販」「海外仕入先の拡大」を重点施策として、インドやメキシコの原料調達拠点の拡充を図るなど、新原料の市場への投入準備を積極的に推進するとともに、原薬製造の安定化・高品質化に取組み、収益確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、販路拡大と前年に比べ一部利益率の高い商品の販売が前倒しとなり、売上高は44億13百万円（同32.8%増）、セグメント利益は8億17百万円（同87.0%増）となりました。

（その他）

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。売上高は2億8百万円（同6.7%増）、セグメント利益は97百万円（同30.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、42億81百万円増加し、636億46百万円（前期末比7.2%増）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ36億54百万円増加し、361億78百万円（同11.2%増）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が20億35百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億27百万円増加し、274億67百万円（同2.3%増）となりました。主な要因は、のれんが5億19百万円、投資その他の資産のその他が1億52百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ32億60百万円増加し、479億46百万円（同7.3%増）となりました。主な要因は、短期借入金が36億91百万円、支払手形及び買掛金が24億31百万円、流動負債のその他が14億1百万円増加した一方、長期借入金が46億26百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ10億21百万円増加し、156億99百万円（同7.0%増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により12億66百万円増加した一方、剰余金の配当により3億25百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は24.7%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,142,039 | 3,973,387 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,080,220 | 20,115,615 |
| 商品及び製品 | 8,260,486 | 8,627,180 |
| 仕掛品 | 257,075 | 346,247 |
| 原材料及び貯蔵品 | 726,666 | 877,967 |
| その他 | 2,064,642 | 2,239,637 |
| 貸倒引当金 | △6,663 | △1,078 |
| 流動資産合計 | 32,524,466 | 36,178,957 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 10,639,797 | 10,567,433 |
| 土地 | 8,162,196 | 8,288,462 |
| その他(純額) | 1,936,627 | 1,907,485 |
| 有形固定資産合計 | 20,738,621 | 20,763,381 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,189,682 | 1,709,262 |
| その他 | 720,524 | 650,914 |
| 無形固定資産合計 | 1,910,206 | 2,360,176 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,429,493 | 4,581,508 |
| 貸倒引当金 | △238,534 | △237,785 |
| 投資その他の資産合計 | 4,190,959 | 4,343,722 |
| 固定資産合計 | 26,839,787 | 27,467,279 |
| 資産合計 | 59,364,254 | 63,646,237 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,074,302 | 24,505,545 |
| 短期借入金 | 3,524,788 | 7,216,619 |
| 未払法人税等 | 94,582 | 434,857 |
| 賞与引当金 | 493,127 | 326,241 |
| 工事損失引当金 | 9,341 | 11,609 |
| 完成工事補償引当金 | 28,090 | 31,512 |
| ポイント引当金 | — | 12,500 |
| 資産除去債務 | — | 1,727 |
| その他 | 3,737,587 | 5,138,864 |
| 流動負債合計 | 29,961,818 | 37,679,477 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,565,074 | 5,938,890 |
| 退職給付に係る負債 | 2,133,645 | 2,207,986 |
| 資産除去債務 | 1,365,361 | 1,407,182 |
| その他 | 660,506 | 712,988 |
| 固定負債合計 | 14,724,587 | 10,267,048 |
| 負債合計 | 44,686,405 | 47,946,525 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 951,404 | 976,396 |
| 資本剰余金 | 556,204 | 581,196 |
| 利益剰余金 | 12,782,638 | 13,723,696 |
| 自己株式 | △123 | △242 |
| 株主資本合計 | 14,290,123 | 15,281,048 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 376,386 | 411,682 |
| 繰延ヘッジ損益 | △445 | △3,634 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 11,783 | 10,615 |
| その他の包括利益累計額合計 | 387,724 | 418,663 |
| 純資産合計 | 14,677,848 | 15,699,711 |
| 負債純資産合計 | 59,364,254 | 63,646,237 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 77,824,952 | 89,991,534 |
| 売上原価 | 62,586,421 | 73,068,260 |
| 売上総利益 | 15,238,531 | 16,923,273 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,771,921 | 14,926,024 |
| 営業利益 | 1,466,609 | 1,997,248 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12,273 | 2,829 |
| 受取配当金 | 34,717 | 36,702 |
| 受取補償金 | 49,339 | 51,190 |
| その他 | 121,150 | 131,790 |
| 営業外収益合計 | 217,481 | 222,513 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 80,902 | 61,134 |
| 為替差損 | 12,797 | 28,392 |
| その他 | 15,112 | 29,494 |
| 営業外費用合計 | 108,812 | 119,021 |
| 経常利益 | 1,575,278 | 2,100,740 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 24,191 | 140 |
| 投資有価証券売却益 | 2,449 | — |
| 特別利益合計 | 26,641 | 140 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 50,318 | 33,381 |
| 賃貸借契約解約損 | — | 8,204 |
| その他 | — | 1,271 |
| 特別損失合計 | 50,318 | 42,856 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,551,602 | 2,058,024 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 292,800 | 878,894 |
| 法人税等調整額 | 256,242 | △87,355 |
| 法人税等合計 | 549,043 | 791,539 |
| 四半期純利益 | 1,002,558 | 1,266,485 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,002,558 | 1,266,485 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 1,002,558 | 1,266,485 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △56,186 | 35,296 |
| 繰延ヘッジ損益 | 300 | △3,189 |
| 退職給付に係る調整額 | △372 | △1,168 |
| その他の包括利益合計 | △56,259 | 30,939 |
| 四半期包括利益 | 946,299 | 1,297,424 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 946,299 | 1,297,424 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月19日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度として新株式の発行を行うことについて決議し、2019年8月9日に20,897株の払込が完了いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が24,992千円、資本準備金が24,992千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が976,396千円、資本剰余金が581,196千円となっております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間について、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「為替差損」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「為替差損」は12,797千円であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 小売事業 | 建設事業 | 貿易事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 50,058,566 | 24,247,176 | 3,323,284 | 77,629,027 | 195,925 | 77,824,952 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,434 | 10,516 | 30,443 | 43,394 | — | 43,394 |
| 計 | 50,061,001 | 24,257,692 | 3,353,727 | 77,672,421 | 195,925 | 77,868,346 |
| セグメント利益 | 1,108,474 | 710,949 | 437,278 | 2,256,702 | 74,546 | 2,331,249 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アベルネット株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「小売事業」のセグメント資産が2,385,527千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,256,702 |
| 「その他」の区分の利益 | 74,546 |
| セグメント間取引消去 | 7,711 |
| 全社費用(注) | △872,350 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,466,609 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」において、2018年12月3日付で株式会社アベルネットの全株式を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては617,270千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 小売事業 | 建設事業 | 貿易事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 59,309,893 | 26,058,942 | 4,413,739 | 89,782,576 | 208,958 | 89,991,534 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,174 | 554 | 15,879 | 19,608 | — | 19,608 |
| 計 | 59,313,068 | 26,059,496 | 4,429,619 | 89,802,184 | 208,958 | 90,011,143 |
| セグメント利益 | 1,547,133 | 407,793 | 817,675 | 2,772,603 | 97,601 | 2,870,205 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社サイエンスホームの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「小売事業」のセグメント資産が1,627,071千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,772,603 |
| 「その他」の区分の利益 | 97,601 |
| セグメント間取引消去 | 8,758 |
| 全社費用(注) | △881,714 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,997,248 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」において、2019年8月27日付で株式会社サイエンスホームの全株式を取得したことから、のれんの金額において重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては674,737千円となります。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、経営管理体制の見直しを行い、既存事業の一部の報告セグメントを「建設事業」から「小売事業」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しております。